

市町村指定文化財取材票《表》

取材日	2023 年	1 月	21 日	(記入者) 宮本正博	
取材参加者	石井	大谷	小倉	垣内	神野
	鈴木	茶谷	西田	東辻	本井
取材対象先	奈良市：鹿野園町の木造十一面観音立像				

所在地	奈良市鹿野園町337				
所有者（取材対象者）名	鹿野園町（個人情報守秘）		連絡先 ***		
	鹿野園町自治会長（***様）		PCアドレス		
取材申込	申込先・行政名など：鹿野園町自治会長 ***様				
市町村指定文化財	彫刻 1 軀	木造十一面観音立像 2022(令和4)年3月25日指定			
	建造物 棟				
文化財指定理由	中世奈良の長谷寺式十一面観音像の一例であり、また室町時代の椿井仏師の作と推測されるものであり、奈良の中世文化史上その価値が高い。				
文化財の状況					
防火対策	設備・対策・点検・通知方法など			記入者の感想	
	昨年度指定され間がないので自治会でも検討中である。集会所は自治会で月1・2回の清掃で点検整備をしている。また、非常用の警報機が備えられている。			仏壇のお水やお花をこまめに変えることや集会や掃除のときの点検など自主点検をしている。また非常用警報器も設置して近所に知らせようになっている。	
獣害対策	被害の有無、対策など			記入者の感想	
	今までのところ、獣害は見られない。			戸締りがきちんとされ、両隣の民家がある。屋根裏に隙間がない限り入り込むことはないと思われる。	
管理者の全体的要望・提案など	指定されて1年たたないので、自治会内でも模索中で話し合っている。地域の集会所維持のための協力と地域の見守る意識が今後さらに大切である。すでにカギを厳重にしたがさらに防犯や防火についても考えていく。将来的な持続性のある文化財保護も考えていく必要がある。				
取材を終えて感じた文化財保護状況の全体的今後の課題（修復、維持、管理、環境など）					
昨年度の市の文化財認定で自治会としてはまだ本格的な維持、修理、管理、環境整備などの課題はこれからの論議である。財政面では市との交渉もあり難しいが 防火や地震対策などは古くて伝統のある自治会なので協力を得ながら進めるだろう。地域の研究者が発見した文化財なので受け継いで保護活動ができる人材が地元で育っていけばしっかり伝承されていこう。					

